

第1章 概要

I はじめに	
1 熊本市の都市像	1
2 日本一の地下水都市	1
3 上下水道局の役割	1
II 総括	
1 熊本市上下水道事業経営戦略	2
2 令和7年度総括事項	4
(1)水道事業会計	
(2)下水道事業会計	
(3)工業用水道事業会計	
III 上下水道局の主な取組	
将来像1. 快適で安全安心な都市生活を支え続ける(安全安心)	5
(1)水質検査計画(毎年度策定)と水質検査	
(2)水道の適切な維持管理と計画的な更新(漏水調査実施計画)	
(3)水道の適切な維持管理と計画的な更新(水道施設整備計画)	
(4)下水道の適切な維持管理と計画的な更新(ストックマネジメント計画)	
(5)公共下水道の整備(公共下水道の整備計画)	
(6)耐震化の推進	
(7)浸水対策の推進	
(8)災害時対応能力の強化	
将来像2. 循環型社会の構築に貢献し続ける(環境保全)	9
(1)水循環の保全	
(2)資源・エネルギーの循環促進	
将来像3. お客さまから信頼されとともに、質の高いサービスを提供し続ける(信頼)	10
(1)お客さまの視点に立ったサービス提供	
(2)お客さまから信頼される職員の育成	
将来像4. 安定した事業経営(持続)	11
(1)水道事業会計の経理状況	
(2)下水道事業会計の経理状況	
(3)工業用水道事業会計の経理状況	
(4)上下水道局の組織と職員数	
IV 業務指標	
1 水道事業	13
(1)水道の普及に関する指標	
(2)水道施設・管路に関する指標	
(3)水道の維持管理に関する指標	
(4)水道事業における環境に関する指標	
(5)水道事業会計に関する指標	
(6)職員(水道事業会計支弁職員)	
2 下水道事業	19
(1)下水道の普及に関する指標	
(2)下水道施設・管路に関する指標	
(3)下水道の維持管理に関する指標	
(4)下水道事業における環境に関する指標	
(5)下水道事業会計に関する指標	
(6)職員(下水道事業会計支弁職員)	

3 上下水道事業共通	25
(1)行政区域に関する指標	
(2)災害に強い上下水道に関する指標	
(3)水循環社会の形成に関する指標	
(4)環境に配慮した事業運営に関する指標	
(5)広報・広聴に関する指標	
(6)職員に関する指標	

第2章 水道事業統計

I 熊本市水道事業の沿革	
1 水道事業のあゆみ	32
2 拡張事業の推移	34
3 水道関連年表	40
4 水道事業主要指標総括表	49
II 主要工事	
1 建設改良工事の概況	53
(1)施設改良事業	
(2)拡張事業	
(3)第6次拡張事業	
(4)水道施設更新事業	
2 その他工事	56
(1)建設改良工事に伴う給水切替工事	
3 保存工事の概況	57
(1)配水費における維持修繕	
(2)給水費における維持修繕	
(3)給水工事申込件数	
III 水道施設	
1 水道の普及状況	58
(参考)住民基本台帳登録数に基づいて算出した給水人口等	
2 水道施設総括表	59
3 機場	63
(1)取水施設	
(2)浄水施設	
ア 圧力式ろ過設備	
イ 次亜塩素酸ナトリウム滅菌設備	
ウ 紫外線処理設備	
(3)送水施設	
(4)配水施設	
ア 配水池施設	
イ 加圧配水施設	
ウ 配水池貯留能力	
4 管路施設	73
(1)口径別	
ア 導水管布設延長	
イ 送水管布設延長	
ウ 配水管布設延長	
エ 導・送・配水管布設延長	
(2)管路に関する指標	
ア 新設管路延長	
イ 管路の更新	
(3)送・配水管付属器具設置数	

5	その他の施設	76
	(1)水運用センター関連設備	
	(2)主な水質検査機器	
	(3)地下水観測井	
6	水道施設位置図	78
7	配水系統図	79
8	熊本市上水道給水区域変遷図	81
IV 水道の維持管理(取水・配水・漏水防止など)		
1	水源地別年間取水量	82
2	系統別配水量	83
3	配水量の分析(年度別)	83
4	電力使用状況	85
	(1)水源地別電力使用量	
	(2)水源地別電力料金	
5	水質検査結果	89
6	水質基準適合率	94
	(参考)給水栓水質検査地点位置図	
7	口径別調定状況	95
8	用途別調定状況	97
9	1人1日あたり生活用水量	97
10	漏水防止状況	99
11	配水管等管理関係工事	100
	(1)移設及び嵩上げ工事	
	(2)他工事	
	(3)維持工事	
12	鉛製給水管率	100
V 給水装置・加入金		
1	加入金改定の変遷	101
2	現行手数料	101
3	加入金口径別収入状況	102
4	手数料収入状況	102
5	給水装置工事受付状況	103
VI 水道事業会計財務統計		
1	経理状況	104
2	予算決算対照表	105
	(1)収益的収入及び支出	
	(2)資本的収入及び支出	
3	損益計算書	107
4	貸借対照表	109
5	キャッシュ・フロー計算書	111
6	性質別支出状況	111
7	経営分析	113
	(1)業務分析比率	
	(2)財務分析比率	
	(3)収益率その他	

第3章 下水道事業統計

I 熊本市下水道事業の沿革		
1	下水道事業のあゆみ	120
2	下水道法認可・都市計画決定の推移	122
3	全体計画	129
	(1)計画区域	
	(2)計画汚水量	
	(3)計画雨水量	

4	全体計画と事業計画	132
5	下水道関連年表	133
6	下水道事業主要指標総括表	137
Ⅱ 主要工事		
1	建設改良工事の概況(1件5,000万円以上、税込)	139
	(1)管渠布設事業	
	(2)ポンプ築造事業	
	(3)処理場築造事業	
	(4)管渠布設事業(雨水)	
	(5)ポンプ場築造事業(雨水)	
2	保存工事の概況	145
Ⅲ 下水道の整備状況		
1	下水道の普及状況と面積の推移	146
2	整備面積	146
3	処理区域面積	146
4	管路整備	146
5	雨水幹線(旧都市下水道)	147
6	ポンプ場	148
	(1)ポンプ場調書	
	(2)マンホールポンプ場調書	
7	マンホール数、汚水・雨水ます数	155
8	災害用マンホールトイレ	155
9	浄化センター	155
	(1)中部浄化センター	
	(2)東部浄化センター	
	(3)南部浄化センター	
	(4)西部浄化センター	
	(5)城南町浄化センター	
10	下水道施設位置図	161
11	熊本市公共下水道事業計画一般図	162
Ⅳ 下水道の維持管理		
1	下水道維持管理の概要	163
2	下水道施設年間電力使用量	163
3	管渠	163
4	ポンプ場揚水量	164
5	年間処理水量・有収水量	165
6	年間汚泥発生量・処分量	166
7	浄化センター水質検査結果	168
Ⅴ 排水設備・受益者負担金		
1	受益者負担金制度	173
2	排水設備工事受付状況	173
3	受益者負担金及び分担金調定収納状況	173
4	受益者負担金の減免制度	173
5	受益者負担金の徴収猶予	174
6	受益者負担金減免及び猶予状況	174
7	私道内の公共下水道布設取扱	174
8	排水設備普及促進	175
	(1)水洗化の状況	
	(2)共同排水設備設置への助成	
	(3)改造資金の融資あっ旋及び利子補給	
	(4)生活保護者等に対する助成制度	
	(5)排水設備工事店の指定及び届出	
9	特定事業場等の排除下水の水質規制	177
	(1)下水道法及び熊本市下水道条例に基づく下水排除基準	
	(2)令和7年度事業場立入水質検査実施状況	

VI 下水道事業会計財務統計	
1 経理状況	179
2 予算決算対照表	180
(1)収益的收入及び支出	
(2)資本的收入及び支出	
3 損益計算書	182
4 貸借対照表	184
5 キャッシュ・フロー計算書	186
6 性質別支出状況	186
7 経営分析	188
(1)施設の効率化	
(2)施設の効率性	
(3)財政状況の健全性	

第4章 共通統計

I 災害に強い上下水道の確立	
1 (水道)災害対策用貯水施設	193
2 (水道)非常用発電・予備電力施設	193
3 (水道)応急給水設備	194
4 (水道)応急給水施設密度	194
5 (水道)配水池耐震化率	195
6 (水道)浄水施設耐震化率	195
7 (水道)ポンプ所耐震化率	195
8 (水道)耐震適合性のある基幹管路の割合	195
9 (水道)水道管路の耐震化率	195
10 (下水道)下水道ポンプ場及び浄化センターの耐震化率	196
11 (下水道)下水道管路の耐震化率	196
12 (下水道)浸水対策における重点6地区の対策率	196
II 水循環の保全	
1 白川中流域水田を活用した地下水かん養事業	197
2 水源かん養林の整備による地下水かん養	197
3 阿蘇郡西原村の国有林を活用した水源かん養林の整備	197
4 直結給水率	197
5 下水処理水の再利用	198
6 汚水処理率	198
7 高度処理人口普及率	198
III 資源・エネルギーの循環促進	
1 エネルギーの使用に伴い発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量	199
2 配水量1m ³ あたり二酸化炭素排出量	199
3 処理人口1人あたり温室効果ガス排出量	199
4 水道施設における自然エネルギー発電量	199
5 下水汚泥の有効利用	200
6 下水汚泥消化ガス発電	200
IV お客さまの視点に立ったサービス提供	
1 上下水道施設見学者数	201
2 出前教室等参加者数	201
3 アンケート回答数	201
4 パンフレット等の作成状況	201

V 検針・水道料金・下水道使用料	
1 検針状況	202
2 水道料金累積収納状況	202
3 下水道使用料累積収納状況	202
4 水道料金収納方法別調定件数	202
5 水道料金改定の変遷	203
6 共同住宅の料金	210
(1)各戸にメーターを設置するもの	
(2)各戸にメーターを設置していないもの	
7 量水器	211
(1)年度別設置数	
(2)購入状況	
(3)量水器出入庫管理状況	
(4)量水器改良工事施工状況	
8 下水道使用料改定の変遷	212
VI 組織・機構(令和8年3月31日現在)	
1 機構図	215
2 事務分掌	216
3 職員数及び配置	219
4 勤続年数別職員構成	220
5 年齢別職員構成	220
(参考資料)令和8年度の組織・機構(令和8年4月1日現在)	
1 機構図	221
2 事務分掌	222
3 職員数及び配置	225
4 勤続年数別職員構成	226
5 年齢別職員構成	226

第5章 工業用水道事業統計

I 工業用水道事業統計	
1 工業用水道事業の概要	230
2 工業用水道事業の届出	230
3 業務指標	231
4 工事	231
5 料金	231
6 財務統計	231
(1)予算決算対照表	
(2)損益計算書	
(3)貸借対照表	
(4)キャッシュ・フロー計算書	